

学生相談室便り

2022年9月 第46号



大人になるってどういうこと？

学生相談室 非常勤カウンセラー 北岡 智子

2022年4月1日より民法の一部を改正する法律が施行され、成年年齢が18歳へと引き下げられました。大学では、今年度の学生は全て成年になったことになります。選挙権年齢については2016年6月より18歳へ引き下げられていますが、今年度の改定により、成年は保護者の同意なく様々な契約を結ぶことができるようになっています。

皆さん、成年年齢が引き下げられたと聞いてどのように感じたでしょうか？「大人になったな」「自由に自分で決められる」「成年といわれても、まだ社会も知らないのに無理」と様々な思いがあるかもしれません。

学生相談室でも学生の皆さんから「大人になるってどういうことか？」という話を伺うことがあります。多くの学生が大人になることは「自分でお金を稼いで生活できるようになる」という経済的な自立、「親に頼らず、人に甘えず自分でやっていく」という精神的な自立、「社会の役に立つこと」、「自分の言動に責任を持つこと」など大人になることのイメージはとても輝かしく、理想的な大人像がいくつも挙げられます。2016年5月のマイナビ学生の窓口調査においても同様の結果となっています。これらの大人像は確かに大人になるための必要な部分でもあります。成年年齢の引き下げによって、18歳からすぐに身に着けられることではありません。特に「なんでも自分でやっていけるように」「甘えは許されない」といった大人に対するイメージは、大きなプレッシャーになると思われます。それは、成人であろうとなかろうと同じです。

精神分析家のウィニコットは「甘えのない自立は孤独に過ぎない」と述べています。ウィニコットの言葉は、甘えや頼ることができない状態での独り立ちというのは、とても孤独なものであることを示しています。

「人に迷惑をかけてしまうから」と過度に人に気を遣い、頼ることや声をかけることを躊躇ってしまうということはありませんか？大人になるということは、一人で全てのことができるのではなく、自分の至らないところやうまくできない部分を認め受け止めたうえで、周りに頼る力も大切になると思います。

学生時代は社会に出る手前の準備期間です。大人になるための準備期間でもあります。失敗することを恐れ過ぎず、また人に頼ることを怖れず、周囲の協力を得て進むことができると、大人になることへのプレッシャーは変化するかもしれません。学生相談室は、皆さんの協力者の一つとしてあります。学生生活の中で感じた不安や心配なことなどありましたら、ぜひご利用ください。

学生相談室は皆さんの安全に配慮したうえでの対面相談を基本としながら、状況によってWeb相談、電話相談もお受けしています。下記のバーコードを読み込み、専用予約フォームからお申込みください。お気軽にどうぞ。

専用予約フォームのアドレス(URL) → <https://secure.sugiyama-u.ac.jp/forms/soudanyoyaku/>



学生相談室便りは、学生相談室のホームページからも見ることができます。
アドレス(URL) <http://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/campus/health/counseling/>